

○4 番（森英樹君）

4 番、森でございます。本日は、2 点質問させていただきます。

まず、1 点でございますけども、町行政のデジタル対応についてということで質問させていただきます。せんだって新聞記事で、システムの標準化、自治体の基幹業務に使う情報システムの標準仕様の移行について、デジタル庁は、政府目標の 2025 年末までに全体の 1 割が間に合わない見込みだというような記事も載っております。そういった中で、わが国のデジタル対応について聞いてみたいと思います。

2010 年後半ぐらいから、わが国は他の先進国や新興国に比べてデジタル化の進展が遅れていると。とくにデータ技術の活用やデジタルサービスの復旧において、遅れを取っているというような見方は広まっていたと思います。

そういった中、2020 年新型コロナウイルスが世界的に拡大し、その 3 月には国内での感染が拡大し始め、緊急事態宣言が発令され、感染拡大の深刻さが認識され始めました。政府が、新型コロナウイルスの影響で経済的な打撃を和らげるために、10 万円の一律給付を実施したことは記憶に新しいところでございます。そのときの給付が迅速に給付されなかったことは、国民の多くはデジタルに関し、後進国なんだなと認識されたものと思います。その後、国はデジタル庁を発足させ、全力を挙げてデジタル推進を図っています。国の方針としては、地方公共団体におけるデジタル化に関し、デジタルガバメントの推進、デジタルソフトの推進、デジタル人材の支援、情報セキュリティ対策の強化、デジタル技術の利用促進と、これらの取り組みを通じて地方公共団体におけるデジタル化が推進され、行政サービスの質の向上や、効率化が図られることは期待されているところでございます。

町でもこの方針に沿ったかたちでデジタル化の推進を図っているところだと思います。そこでお伺いいたします。庁舎エレベーター横に庁舎業務案内板がございます。3 階総務課の中にデジタル推進室と表示がございます。このデジタル推進室、何名で、どのような業務を行っているのでしょうか。また、その職員は専任職員でしょうか、お伺いいたします。

○議長（濱野良一君）

総務課長 笹山恵子君。

○総務課長（笹山恵子君）

森議員のご質問にお答えいたします。

デジタル推進室には、専任職員 1 名と兼務職員 1 名を配置しております。デジタル推進室の主な業務内容としましては、業務システムやネットワーク機器等の管理運用、情報セキュリティ対策のほか、デジタル化による各課の業務改善の支援、DX の推進など、デジタルに関する業務全般を担当しております。

○議長（濱野良一君）

森英樹君。

○4番（森英樹君）

その業務の中でこれまでに、住民の利便性の向上のために行ったデジタル施策、また、職員の効率化につながる施策、具体的にどのようなものがあったんでしょうか。

また、今後計画している施策ございますでしょうか。

○議長（濱野良一君）

総務課長 笹山恵子君。

○総務課長（笹山恵子君）

森議員の2点目のご質問にお答えいたします。

まず、住民の利便性向上につながる施策といたしましては、スマートフォン教室の開催や、フリーWi-Fiの整備、オンライン申請に対応するための環境構築などを実施しております。

また、職員向けにはオンライン会議やテレワーク環境の整備、AIによる会議録の自動作成システムの導入、LGWAN回線の無線化やノートパソコンの切り換えによるペーパーレス化の推進など業務の効率化と経費の削減を図るための取り組みを行っております。

今後のさらなるデジタル化の推進に向けて、本年1月から各課の若手職員を選抜したDX推進プロジェクトチームを立ち上げております。若手職員を中心にチームを構成することで、新しいテクノロジーに対する柔軟性や熱意を生かし、従来のやり方にとらわれることなく、より革新的なアイデアを生み出されることを期待しております。プロジェクトチームから提案されたデジタル施策の中に、住民の利便性の向上や業務の効率化に大きく貢献するものであれば、今後予算化することも検討しております。

○議長（濱野良一君）

森英樹君。

○4番（森英樹君）

予算的なほう、全課にまたがり、デジタル予算関連が計上されています。複雑化する行政サービスや情報公開のデジタル化が進む中、デジタル技術を活用した業務が今後ますます増加してこようかと思っております。第7次の土庄町総合計画の中でもデジタル化の推進ということで、基本計画の1つの項目としてうたっています。

情報セキュリティ対策、ネットワーク化など町のデジタル化を推進していくうえで、その業務を専門的に遂行する職員が必要ではないかと思うんですけども、先ほど課長が、専任職員が1人、兼務職員が1人、あと、若手を中心に

プロジェクトでグループで育成しているという話は分かるんですけども、専門的な、より専門的な職員を採用するというような考えはございませんでしょうか。

○議長（濱野良一君）

総務課長 笹山恵子君。

○総務課長（笹山恵子君）

森議員の3点目のご質問にお答えいたします。

森議員もおっしゃるとおり、デジタル化を進めていく中で、その担い手となるデジタル人材の必要性は十分認識しておりますが、民間も含めデジタル人材の需給が逼迫している中で、本町のような小規模の自治体における専門職の確保はなかなか難しい状況でございます。

本町としましては、県や先進自治体である高松市などと連携し、広域的な枠組みでデジタル化を推進していくことが望ましいと考えており、香川県と県内全市町、民間企業が連携して、自治体や地域のDXを推進する取り組みである香川DXラボの中で、情報や人的リソースを共有しながら県内自治体のデジタル化を進めていくことについて、県や関係市町に積極的に働きかけてまいりたいと考えております。

また、先ほどご説明いたしましたDX推進プロジェクトチームの取り組みなどを通じて、今いる職員の活用や育成についても並行して進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（濱野良一君）

森英樹君。

○4番（森英樹君）

はい、よく分かりました。専門職の採用は無理ということであればですね、研修なんかで知識を深めるというのも1つの手ですけども、技術は日進月歩であります。例えば、採用した職員を専門学校に通わすとかいうような手だてもあるかと思えますけれども、町長、どうでしょうか。

○議長（濱野良一君）

岡野町長。

○町長（岡野能之君）

森議員のご質問にお答えいたします。先ほどの担当課長の答弁とかなり重なる部分もありますが、私のデジタルに関しての今考えてる部分をお伝えいたします。

まず、施政方針でもお伝えしたとおり、土庄町にとってデジタル技術の活用は不可欠だと思っております。その中で、先ほども答弁にありましたが、職員の課題意識に基づく業務改善のためのデジタル化を進めるため、今年度設置したデ

デジタル DX プロジェクト推進会議を 6 年度も延長してまいります。その中でですね、町民の皆さまの利便性、職員の業務の効率化、また費用の作成などを、まずはデジタル技術推進室の職員、DX プロジェクト推進会議の職員に課題を提案していただき、香川 DX ラボなどを活用し、アナログで処理されたものをデジタル化するよう進めてまいりたいと思っております。その後ですね、課題は山積していくと思っておりますので、国のデジタル支援員などを活用できないかどうかなどの協議を進めていき、デジタル技術を活用し、政策等に生かしながら業務プロセスの見直しなどを進めていきたいと思っております。以上でございます。

○議長（濱野良一君）

森英樹君。

○4 番（森英樹君）

町の方も国の方針に則ったようなかたちでいろんな取り組みを町単位じゃない、もっと広げたかたちでも、やっていくということで理解いたしました。こないだから、庁舎の入り口にデジタルサイネージですかね、大きなビジョンで分かりやすく確定申告の、先週ですけれども案内とか、あと画面がくるっと変わってスマホ教室の案内とか、今日もちょっと見てみますとスマホ教室の案内と下に林業の木材伐採から加工というところ、映像で出しておりましたけれども、非常に分かりやすい。ぜひ、住民に分かりやすいようなかたちで、これもデジタル化の一環だと思うので、続けていただきたいと思っております。それと今朝の新聞ですけれども、県内のある市が、市の公式ライン、アプリでございますけれども、リニューアルして趣味や関心がある情報だけを受け取れるセグメント配信を行うというような記事も載ってましたので、これからますますいろんな情報が進む中で、わが町はどのような情報をもって、町民に行政を理解してもらうかというようなことも研究していただきたいと思います。

今後、人口減が想定される中、住民が減っていくということになっても全体の事務量は、当然、大きく減らないだろうと考えております。むしろデジタルを活用した新たな取り組みが必要になってこようかと思っております。わが町、土庄町が他の市町村からの手本となるように本町のデジタル化推進を進めていただきまして、オンラインでの手続きとか情報提供など住民が利用しやすい、分かりやすいサービス提供をお願いしたいということで、1 番目の質問を終わらせていただきます。

2 番目の質問でございますけれども、高見山運動公園の現状と課題ということでございます。高見山公園は、施設が老朽化してきております。今後どのような考えで公園を維持しようとしているのかを問いたいと思っております。

まず、現状の説明をさせていただきます。高見山運動公園の現状でございますけれども、4 つのエリアに分かれています。

まず、下からまいりますと運動公園、多目的グラウンドですか、こちらは有料での貸し出し。野球を中心に利用し、ネット裏に観客席を設け、グラウンドは綺麗に整備されております。その上にはテニスコート、これも有料でございます。トイレを有した管理棟、そして全天候型コート 4 面を有しております。コート奥のポケットパークには国土地理院が管理する電子基準点も設置しております。これ関係ございませんけども、地上 2 万 km を周回する GPS 衛星から出された電波信号をそこで受信して活用しているみたいでございます。コートでございますけれども、ネットを含めて器具類が消耗して古くなっております。コート面がめくれている部分もあり、けがの恐れがあるということでございます。そして、冒険の森ドラゴンロードでございますけれども、冒険の森としてフィールドアスレチックがあり、すべり台を兼ねて、親子で楽しめる施設であります。最上部には板張りの広いスペースがあり、そこに双眼鏡も備えられ、屋島が一望でき景色がいいところでございます。現状は、フィールドアスレチックの途中から上部がロープで立ち入り禁止として使用できなくなっております。頂上の展望広場ですが、ちょっと忘れられ感がありますけども、遊歩道が山頂まで続き、山頂には山城があります。桜の木も植樹され、俳句の森としての句碑があり、山頂からは屋島、五剣山、四国山脈と、反対側へ回ると土庄港の全景と四方の景色が眺望できます。が、遊歩道への案内看板も相当くたびれてきており、山頂にあるトイレは朽ちており、石垣で囲まれている山城も朽ちかけており、ロープで立ち入りを制限しているというような状況でございます。照明等も機能していないというのが現状でございます。この高見山公園の当初の開発目的、そして完成年度をお聞きしたいと思います。

○議長（濱野良一君）

生涯学習課長 宮原正行君。

○生涯学習課長（宮原正行君）

森議員のご質問にお答えいたします。

高見山公園は、社会教育施設として町民の体力づくり健康づくりを通して、人々が交流できる場を確保し、地域の振興と住民の健康増進に資することを目的として設置しております。公園内にある展望台は平成 2 年度、テニスコートは平成 3 年度、冒険の森は平成 4 年度、多目的グラウンドについては平成 8 年度に整備を行っています。

○議長（濱野良一君）

森英樹君。

○4 番（森英樹君）

公園の整備に関しましては、上から順番に整備して、ほぼ 30 年近く経つておるといふようなことでございます。もう少し詳しく聞きたいと思っております。

この公園整備、全体事業費、いくらかお分かりになりますでしょうか。

○議長（濱野良一君）

生涯学習課長 宮原正行君。

○生涯学習課長（宮原正行君）

森議員の再質問にお答えいたします。

事業費につきましては、開園にあたり総額で約16億6000万円でございます。

○議長（濱野良一君）

森英樹君。

○4番（森英樹君）

当時、16億6000万という相当の金額での山の開発、公園になったということでございます。それから、現在まで月日が経って30年経ってるんですけども、過去5年間で結構でございます。メンテナンス料どれぐらいかかっているか、ちょっとお聞かせいただけますでしょうか。

○議長（濱野良一君）

生涯学習課長 宮原正行君。

○生涯学習課長（宮原正行君）

森議員の再質問にお答えいたします。

若干概数となりますが、お許してください。高見山グラウンドは5年間で約1850万、テニスコートは約200万、あと冒険の森ドラゴンロードは約250万円かかっております。以上です。

○議長（濱野良一君）

森英樹君。

○4番（森英樹君）

5年間でその金額ということで、他の事業費に比してこの額はちょっと寂しい額かなと個人的には思っております。老朽化に打ち勝つような金額ではないかなと思っております。

その次にですね、遊具の安全基準についてお伺いします。

遊具の安全基準ありますか。また、定期的な保守点検を行っているかということで併せてお伺いしたいと思います。

○議長（濱野良一君）

生涯学習課長 宮原正行君。

○生涯学習課長（宮原正行君）

森議員の再質問にお答えいたします。

遊具の安全基準については、国土交通省が作成した都市公園における遊具の安全確保に関する指針およびこの指針の考えを踏まえて、一般財団法人日本公園施設業協会が作成した遊具の安全に関する基準というのがございます。高見

山公園の遊具の保守点検に関しましても、毎年 1 回、専門業者による実施しております。以上です。

○議長（濱野良一君）

森英樹君。

○4 番（森英樹君）

この高見山公園、現時点で改修などの計画ございますでしょうか。

○議長（濱野良一君）

生涯学習課長 宮原正行君。

○生涯学習課長（宮原正行君）

現時点では、改修計画というのはございません。しかし、各施設は、もう整備から一定期間が経過したことにより、施設の老朽化が進行しており、適宜メンテナンスや改修を実施しているところでございます。

また、昨年には青年会議所や商工会青年部の有志で組織する小豆島パークリノベ実行委員会が、ドラゴンロード周辺の草刈りや清掃、ベンチの設置などを行っていただきました。そういう民間の方の力もお借りしております。今後につきましては、危険なものについては撤去もやむを得ないと考えておりますほか、各施設の利用状況を踏まえながら、将来の公園の維持管理のあり方についても検討していく必要があると考えております。以上です。

○議長（濱野良一君）

森英樹君。

○4 番（森英樹君）

全体が老朽化しているなか、公園全体の全面改修は厳しいとも思いますが、改修の優先順位としてですね、ドラゴンロードであります。子どもの遊び場として、さくら公園と並び子育て中の親子と一緒に運動できる数少ない施設だと思えます。第7次の土庄町総合計画、子育て環境の充実、子どもの遊び場の確保をうたっております。子育て施策は、町長も注力するものだと思います。さくら公園ができたものの、休日にはたくさんの親子連れがおり、遊具不足によりまだまだ遊び場が少ないという声も聞かれます。とくにドラゴンロードは、さくら公園と並び子育て中の親子と一緒に運動できる数少ない施設だと思っております。リニューアル整備をすることで、遊び場としての町民誰もが安心して利用できる状況を維持することは必要だと思います。高見山のフィールドアスレチックは休止になり、危惧しているところでございます。そのあたりいかがでしょうか。優先順位とかいうところで。

○議長（濱野良一君）

生涯学習課長 宮原正行君。

○生涯学習課長（宮原正行君）

森議員の再質問にお答えいたします。

高見山のアスレチックはまだ休止はしておりませんでございます。はい、繰り返しになりますが、各施設の利用状況などを踏まえて、改修更新などを行い、公園の維持管理に努めていきたいと考えております。以上です。

○議長（濱野良一君）

森英樹君。

○4番（森英樹君）

教育長、どうお考えでしょうか。公園の維持というところで。

○議長（濱野良一君）

港教育長。

○教育長（港育広君）

私としても町民誰もが安心して利用できる公園として維持していけるよう努力していきたいと考えております。

○議長（濱野良一君）

森英樹君。

○4番（森英樹君）

ありがとうございました。

先人がつくった公園でございます。今ある施設を大切にメンテナンスをしてですね、町民誰もが安心して利用できる公園として維持していただきたいと思っております。

以上で、私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。